

# 社団法人日本野球機構平成 20 年度事業報告

(自平成 20 年 10 月 1 日～至 21 年 9 月 30 日)

社団法人日本野球機構定款第 4 条に定める事業の順に記した。

## ▽ 球団間の試合日程の編成および審判

- \* 2008 年・セントラル、パシフィック両連盟選手権試合
  - ・ セントラル・リーグは読売が 2 年連続 3 2 度目の優勝。クライマックス・シリーズでは、第 1 ステージで 2 位の阪神を下した 3 位の中日を破り、日本シリーズ進出を決めた。
  - ・ パシフィック・リーグは埼玉西武が 4 年ぶり 2 1 度目の優勝。クライマックス・シリーズでも、2 位のオリックスを第 1 ステージで下した 3 位の北海道日本ハムを破り、日本シリーズ進出を決めた。
- \* 2009 年・セントラル、パシフィック両連盟選手権試合
  - ・ セントラル・リーグ、パシフィック・リーグとも交流試合を含め 1 球団 1 4 4 試合。
  - ・ 両リーグとも上位 3 球団によるクライマックス・シリーズ勝者が日本シリーズに進出する。
  - ・ セントラル・リーグ、パシフィック・リーグは 4 月 3 日に同時開幕。
- \* 2009 年・ジュニア・ペナント・レース  
イースタン・リーグは、ウエスタン・リーグとの交流試合を含め 1 球団 1 0 8 試合、ウエスタン・リーグは、イースタン・リーグとの交流試合を含め 1 球団 9 6 試合を実施。ウエスタン・リーグは中日ドラゴンズ、イースタン・リーグは読売ジャイアンツが制した。

## ▽ 野球試合の主催

- \* 2008 年・日本選手権シリーズ  
11 月 1 日から 11 月 9 日までの間、埼玉西武と読売の間で両チームの本拠地、西武ドームおよび東京ドームにおいて行い、埼玉西武が 4 勝 3 敗で 4 年ぶり 1 3 度目の日本一となる。

入場者	2 6 0, 2 4 5 名
入場料収入	1, 2 9 3, 8 8 0, 5 0 0 円
テレビ・ラジオ放送料収入	1, 0 4 4, 5 0 4, 3 0 0 円
- \* 2009 年・フレッシュオールスターゲーム  
7 月 2 3 日、札幌ドームで開催。
- \* 2009 年・オールスターゲーム (特別協賛社：マツダ株式会社)  
7 月 2 4 日に札幌ドーム、7 月 2 5 日にマツダスタジアム (広島) で開催。

入場者	6 9, 2 3 6 名
入場料収入	3 9 8, 5 2 3, 8 0 0 円
テレビ・ラジオ放送収入	1 7 9, 1 8 8, 8 0 0 円
特別協賛金	2 5 2, 0 0 0, 0 0 0 円

▽ 野球規則の制定および野球技術の研究

- \* 野球規則委員会においてプロ、アマ合同でルール研究会を行なう。

▽ 野球選手、監督および審判の養成

- \* 2008年・ファーム秋季教育リーグ

12球団のファームチームが参加して、宮崎県内の各球場でフェニックス・リーグを10月7日から10月23日まで開催。

- \* 2008年・新人選手選択会議

「新人選手選択会議」「育成選手選択会議」を10月30日に開催。

- \* 2009年シーズン・選手、審判員トレーニング

セントラル、パシフィック両連盟の各球団は、それぞれの選手に対し2月1日から沖縄、九州、四国のキャンプ地でトレーニングを行なう。2月下旬から3月下旬まで各球団は非公式試合を実施。両連盟も各キャンプ地に審判員を派遣、研修およびトレーニングを行ない、非公式試合に参加した。

- \* 2009年・新人選手研修会

3月2日に東京都内のホテルに12球団の新人選手を集め、社会常識、納税に関する基礎知識、暴力団対策等の講習を実施。

▽ 野球に関する指導および普及奨励

- \* プロ・アマ合同で『2009年・公認野球規則』を発刊。

- \* 『2008年・日本シリーズ公式プログラム』、『2009年・プロ野球公式記録集、オフィシャル・ベースボール・ガイド』、『2009年・プロ野球オールスターゲーム公式プログラム』を編集発刊。

- \* 公式記録の電算システム化によるベースボール・インフォメーション・システム（BIS）を継続し、公式戦および過去の記録を球団、球場、メディアに配信。

- \* 試合速報を文字情報として携帯電話に配信するサービスを継続。

- \* インターネットでの情報配信。日本野球機構のホームページでオールスターゲーム、日本シリーズ、ドラフト等の速報やプロ野球の最新情報を適宜配信。

- \* 12球団が小学校5、6年生によるジュニアチームを編成し、12月26日から28日まで、札幌ドームで「NPB12球団ジュニアトーナメントENEOS CUP」を開催。

- \* 9月6日、15日に第5回NPBCUP選抜学童軟式野球大会を開催、関東の16チームが参加した。

- \* 小学校高学年向けの教科書副教材「夢の向こうに」を制作、約75万部を47都道府県の希望校に配布。

▽ 野球に関する資料の収集、調査および研究

- \* 公式戦および過去の公式記録を収集、電算システム化を継続。

▽ 野球選手、監督、審判および野球関係者の表彰ならびにそれらの者のための養老厚生事業の実施。

- \* 2008年両リーグ、ペナントレース表彰選手を全国の経験5年以上のプロ野球担当記者による投票で最優秀選手、最優秀新人、ベストナインを選出。最優秀選手にはセ・リーグがラミレス外野手（読売）、パ・リーグは岩隈久志投手（東北楽天）が選ばれた。

- \* 第32回正力松太郎賞選考委員会を11月18日に開催、埼玉西武の渡辺久信監督を選出した。
- \* プロ野球コンベンションを11月21日に開催。セントラル、パシフィック両連盟の選手表彰式およびパーティー、イースタン、ウエスタン両連盟表彰式を実施。
- \* 適格年金にセントラル、パシフィック両連盟の12球団選手・監督・コーチおよび審判員が引き続き加入。

#### ▽ 球団間の連絡、親善

- \* 社団法人日本野球機構通常総会（11月17日）

自2008年10月1日～至2009年9月30日、（社）日本野球機構予算を承認。

自2008年10月1日～至2009年9月30日、（社）日本野球機構事業計画を承認。

自2007年10月1日～至2008年9月30日、（社）日本野球機構決算報告および事業報告を承認。

自2007年10月1日～至2008年9月30日、野球組織およびコミッショナー事務局の決算報告を承認。

- \* 社団法人日本野球機構臨時総会

#### ▽2008年11月17日

- ・理事の任期満了に伴う改選の件

加藤良三 清武英利 沼沢正二 伊藤一正 倉島今朝徳 鈴木清明 山中正竹

依田龍也 村山良雄 島田利正 瀬戸山隆三 井上智治 角田雅司

以上の理事の再選重任を承認。

- ・監事就任に関する件

小林信次、南信男を承認。

#### ▽2009年4月6日

- ・理事就任に関する件

中日ドラゴンズ

新・西脇紀人、旧・伊藤一正を承認。

- \* 各種委員会

オーナー会議2回、実行委員会11回、その他に各種委員会を随時開催。

#### ▽ 野球に関する国際的な連絡および事業の実施

- \* コナミカップ アジアシリーズ2008

11月13日から16日まで、アジアのプロ野球リーグのチャンピオンチームが東京ドームで総当りの予選リーグを行い、決勝は日本代表の埼玉西武と台湾の統一の間で争われ、埼玉西武が1-0で勝って、アジアチャンピオンの座についた。

- \* 2009 WBC (World Baseball Classic) に日本代表を派遣

- ・ 宮崎で合宿(2月15日～22日)を行い、その後京セラドーム大阪での豪州との強化試合を経て、東京ラウンド(3月5日～9日 東京ドーム)を2位で通過、第2ラウンドへ進出。アメリカでの合宿(3月10日～14日 アリゾナおよびサンディエゴ)を行い、第2ラウンド(サンディエゴ)

を1位で通過。ロサンゼルスでの決勝ラウンドでは、準決勝で米国、決勝で韓国を破り2大会連続で優勝に輝いた。

▽ アマチュア野球またはアマチュア野球をふくむアマチュアスポーツの振興またはその援助を目的とする公益的団体への資金的援助

＊ 全日本野球会議（プロ、アマ合同）で野球振興策等を話し合い、2008年度の事業報告、収支決算、2009年度の事業計画と収支予算を承認。

＊ アオダモ育成の会援助。バット原料になるアオダモの植林活動等の運動に協力する。

▽ 野球に関する博物館、図書館等の公共施設にたいする資金的援助

＊ 野球体育博物館への援助。

以上